

神奈川県大学体操競技選手権大会女子適用規則（2022年度版）

<採点方針>

本規則は、一般規則に準拠（目的、ねらい等）しつつ、大会の競技水準を考慮し、選手に対して公正かつ教育的な採点を行うことをねらいとする。また、本採点規則が全日本および関東学生体操競技連盟主催の競技会への出場を目的とした日々の練習目標として効果的に働くよう採点の指針を示す。

なお、ここに示すもの以外は、2022年版採点規則(日本体操協会発行)を適用する。

<競技方法>

適用規則は、FIG 競技規則に準ずる。また本大会は、2022年版採点規則 変更規則 I を適用し、情報については最新号までを適用とする。

<短い演技>

演技の実施と芸術性の減点がなされるEスコアの最高点は以下の通り：

- ・ 10.00 もし6技以上の実施であれば
- ・ 6.00 もし5技の実施であれば
- ・ 5.00 もし4技の実施であれば
- ・ 4.00 もし3技の実施であれば
- ・ 3.00 もし2技の実施であれば
- ・ 2.00 もし1技の実施であれば
- ・ 0.00 もし技の実施であれば

<A(0.10)の難度を認められる要素>

※変更規則 I

以下の要素は1技として数えられるが、構成要求、組み合わせ加点、シリーズボーナスには使用できない。また、平均台において横向きでのジャンプを実施しても1つ高い難度は与えられない。

—平均台

- ・ 伸身とび
- ・ かかえ込みとび
- ・ 前転
- ・ 後転

—ゆか

- ・ 前方倒立回転
- ・ 側方倒立回転
- ・ 後方倒立回転

※神奈川県大学体操競技選手権大会のみ認められる要素

—段違い平行棒

- ・ 逆上がり
- ・ 足掛け上がり
- ・ 棒下振り出し下り

<第8章 一般欠点と減点表>

追加

—前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） -0.10/0.30/0.50

<跳馬>

- ・助走
 - 選手が跳躍板や機械に触れていなければ、3回の助走が許される。
(余分な助走の減点は適用されない)
- ・種目特有な要求
 - 2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。
- ・種目特有な実施減点※グループ1の跳躍版のみに適用
 - 追加：支持局面 ・支持が長い -0.10/0.30/0.50
 - 変更：第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける -0.10/0.30/0.50

<終末技ボーナス>

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、B難度またはそれ以上の終末技に対しての以下のボーナスが与えられる

- Bの終末技 +0.30
- Cの終末技 +0.50
- D以上の終末技 +0.70

※Dスコアに加算される。

※大過失のある実施にもボーナスが与えられる。

<構成要求>

段違い平行棒

- ① 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
- ② 空中局面を伴う技（構成要求1とは兼ねられない、終末技を除く）
- ③ 異なる握り（後ろ振り上げ、開始技と終末技を除く）
- ④ 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技（開始技を除く）

平均台

- ① 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
- ② ターン（グループ3）または接転系の技/旋回
- ③ 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ（同一技でも良い）
- ④ 方向の異なる（前方/側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

- ① 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
- ② ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
- ③ 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン
- ④ 同じまたは異なるアクロラインで後方宙返りと前方宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）

<平均台、ゆか共通>

- ・芸術性と構成の減点（変更）
 - 身体の姿勢が悪い（頭部、肩の位置、胴体） -0.10/0.30
 - 大きさ不十分（身体を最大限に使った動き） -0.10/0.30
 - つま先が伸びない/足が緩む/足が内向き -0.10/0.30

2022年7月5日
神奈川県大学体操競技連盟